

今さら石炭?

東京湾岸の石炭火力発電所計画の今

東京湾には4ヶ所で石炭火力発電所建設計画がありましたが、事業性が見合わず、市原、千葉、袖ヶ浦の3ヶ所の計画は次々と中止に。今、**横須賀**の計画だけ残り、工事着工に向かおうとしています。



横須賀だけ 石炭が残る!?



石炭魔人

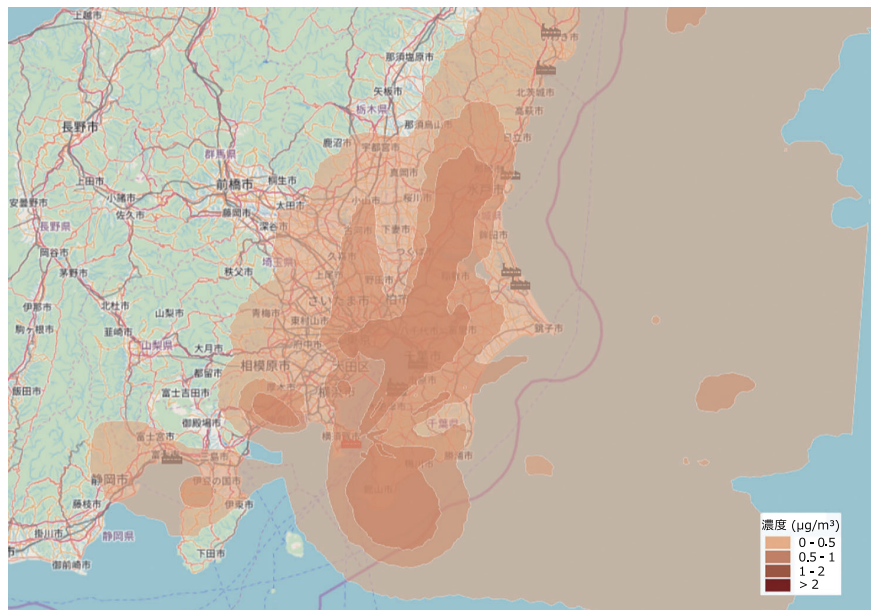
横須賀の石炭火力発電所は、稼動すると年間 726 万トン -CO₂ を排出し、神奈川県全体の CO₂ 排出量 7,721 万トン -CO₂ (2015 年度) の約 1 割弱に相当します。また、石炭火力は、PM2.5 や大気汚染物質を大量に放出するのです。

PM2.5 による健康被害 特に子どもや病気の人は深刻

PM2.5 は粒子が非常に小さく、大気汚染物質の除去装置も通過しやすいと言われています。粒子が小さいため肺胞や血管にも侵入し、短期ばく露による急性影響、長期ばく露による慢性影響があります。それぞれ呼吸器系や循環器系の病気、急性心筋梗塞のリスクが高まり早期死亡にもつながりかねません。

硫黄酸化物 (SO_x) や 窒素酸化物 (NO_x) の健康影響

SO_x は呼吸機能に影響を及ぼし、眼の粘膜に刺激を与えるほか、酸性雨の原因物質の一つでもあります。また、NO_x、ばい塵は光化学スモッグの原因にもなります。



出典：「石炭汚染マップ」 横須賀で計画中の石炭火力発電所が稼動した場合の PM2.5 排出シミュレーション (7月) 結果

いまさら石炭火力発電所は必要ありません!

① 電気は足りています!

日本では東日本大震災以降省エネが進み、電力需要は 1 割下がりました。東京電力管内に送電されていた原発も、現在動いていませんが、それでも電気は十分に足りています。また再生可能エネルギーなどの普及も進んでいるため、新たな石炭火力は明らかに過剰です。

② パリ協定で「脱炭素社会」を目指す時代へ

2016 年、「パリ協定」が発効し、これからは CO₂ を排出しない「脱炭素社会」を実現させる時代になりました。そのために、CO₂ をたくさん排出する石炭火力発電所から撤退する宣言をする国 (イギリス、フランス、カナダ、ドイツなど) や自治体が増えています。

③ 再生エネルギー 100% を目指す企業が増えている

リコーや富士通、イオンなどのように、2050 年までに再生可能エネルギー 100% を目指す企業が増えています。石炭火力発電所で作られる「汚い電気」は、時代の要求に答えていません。

石炭火力を考える東京湾の会 <http://nocoal-tokyobay.net/>

〒102-0082 東京都千代田区一番町 9-7 一番町村上ビル 6F 気候ネットワーク東京事務所内
TEL: 03-3263-9210 / FAX: 03-3263-9463 / E-Mail: tokyo@kiconet.org

(2019 年 3 月)



アンチコールマン